



LIXIL

イタリア(リモコン電動)

電気工事説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
- リモコンはリモコン取付け時、子供の手の届かない高い位置に取付けてください。誤って人・物が挟まってケガや故障するおそれがあります。

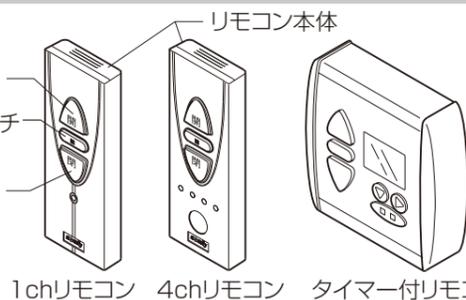
■取付け上のおお願い

- この商品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。設定前に供給電源が常に定格電圧範囲内(90V～110V)であることをご確認ください。
- 障害物にあたりと停止・反転する機能は、モータ内部電圧の変動を利用した方式を採用しております。そのため、瞬間式の給湯等(瞬間的に電力制御を行う電気機器)とシャッターが同じ電源回路にあると誤作動のおそれがありますので、別の回路にしてください。
- 通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。
- 屋外や浴室など湿気の多い場所や暖房器など熱源に近いところへは取付けしないでください。
- 腐食性ガスや可燃ガスの発生する場所および薬品を常時使用するような場所には取付けしないでください。
- アース工事は必ず行ってください。

■各部の名称および部品明細

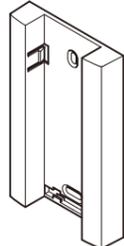
●リモコン

開スイッチ
停止スイッチ
閉スイッチ

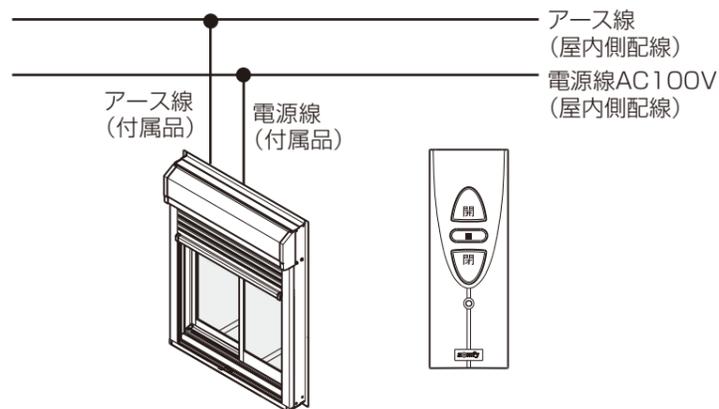


1chリモコン 4chリモコン タイマー付リモコン

●リモコンホルダー

●フィッシャープラグ
30mm (2本)●タッピンねじφ3×20(2本)
(1chリモコン、4chリモコン)●タッピンねじφ3×25(2本)
(タイマー付リモコン)

■配線図

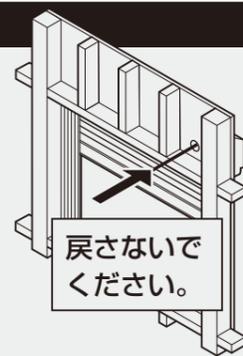


■配線手順

- 電源線(付属品)・アース線(付属品)をそれぞれ所定の位置へ配線してください。造作材の貫通および固定作業は、電気工事の有資格者が行ってください。
- ※電源線、アース線は、くぎ打ちされないように配線してください。
- ※天井裏の配線が不可で、間柱および柱、ハリに穴をあける場合は、必ず工務店さまの承認を得てください。
- ※アース工事は必ず行ってください。

▲注意

- シャッターが動き始めることがありますので、シャッターの下に顔や手を出さないでください。
- 電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
- 作動確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。また、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。



■シャッター設定方法

- 設定前に供給電源が定格電圧範囲内(90V～110V)であることを確認してください。

初期設定操作

①上下限位置設定

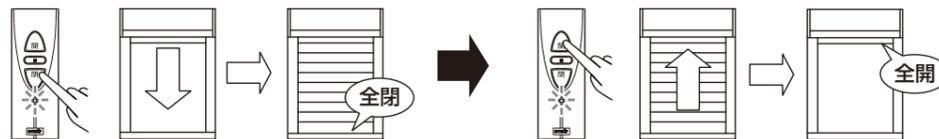
…お願い…
※通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。

- 上下限の停止位置を設定します。

①開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。

※上限の停止位置を正確に出すため、シャッターが全開状態の場合は、閉スイッチ▽を押し、スラットを少し下げた後、開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。

②閉スイッチ▽を押し、シャッターを全閉にしてください。もう一度開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。



③シャッター全開後、リモコンの開閉スイッチを操作して、シャッターをもう1往復させてください。上下限位置設定が完了します。

②感度設定

- 下限位置での停止感度を設定します。

①上下限位置設定完了後、リモコンの開閉スイッチを操作して、シャッターをもう2往復させてください。感度設定が完了します。

※これでシャッターの設定は完了です。

■停電後復帰方法

●下記現象の場合、停電から復帰した状態になったと考えられます。停電復帰操作を行なってください。

現象	開スイッチ△を押しても、全開しないで途中で止まる	閉スイッチ▽を押すと、全閉して反転後途中で止まる	閉スイッチ▽を押しても、全閉しないで途中で止まる
復帰方法	①閉スイッチ▽を押して、シャッターを少し下げます。 ②停止スイッチを押して、シャッターを停止させます。 ③開スイッチ△を押して、シャッターを全開します。		①開スイッチ△を押して、シャッターを全開します

■シャッターの点検

●シャッターの設定完了後、以下の項目について点検してください。

- ①スイッチのワンタッチ操作で、全開・全閉・停止しますか。
- ②操作ハンドルを引いて、手動開閉できますか。
- ③プレッシャーリターンセンサーは作動しますか。
- ④ロックは施錠できますか。

※②、③、④の点検方法については、「お施主さま用取扱い説明書」をご覧ください。

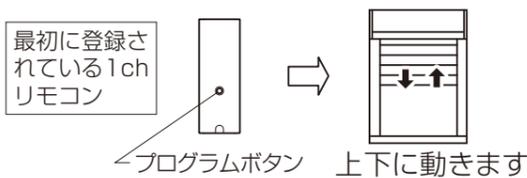
■追加リモコン登録方法

※リモコンを追加で複数台登録する場合のリモコンの登録方法です。

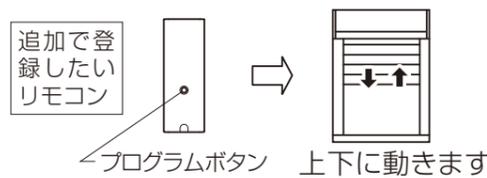
※通電状態で行ってください。

※シャッターを中間位置まで作動させてください。

- ①シャッターが小さく上下に動くまで(約2秒)、最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンを押します。



- ②追加で登録したいリモコンのプログラムボタンを一度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。これで登録が完了です。

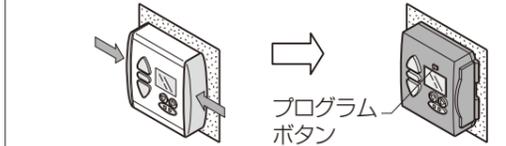


■各リモコンのプログラムボタンの位置

〈1chリモコン、4chリモコン〉



〈タイマー付リモコン〉



- ①フロントカバーの両サイドをつかみ、手前に引っ張ります。
- ②プログラムボタンを押します。フロントカバーを取付けます。

●4chリモコンの登録

- (1) 4chリモコンを追加する場合

チャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。次に上記①、②の手順でリモコンを登録します。

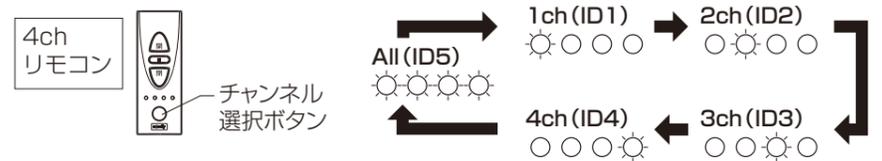
- (2) 4chリモコンの各チャンネルに複数シャッターを登録する場合

- ①複数シャッターを登録する4chリモコンのチャンネルを選択します。
- ②シャッターが小さく上下に動くまで(約2秒)最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンを押します。
- ③4chリモコン裏側のプログラムボタンを1度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。

※シャッター1台ずつの登録が必要となります。登録するシャッター数に合わせて②、③の手順を繰り返し行ってください。

■チャンネルの選択方法

チャンネル選択ボタンを押してください。現在選択されているチャンネル(ID)が約5秒間早い間隔で点滅します。この点滅をしている間にチャンネル選択ボタンを押すとチャンネル(ID)が切り替わります。※4chリモコンは各チャンネル(ID1～ID5)に登録したシャッターを操作することが可能です。



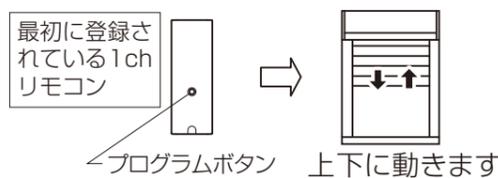
■追加リモコンの登録削除方法

※リモコンを追加で複数台登録している場合のリモコンの削除方法です。

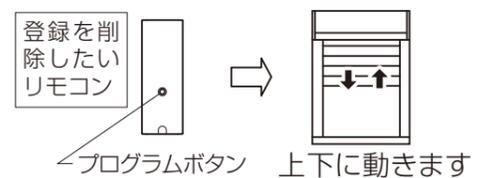
※リモコンが複数台登録されている場合は、下記の①、②の手順を繰り返し行ってください。

※シャッターを中間位置まで作動させてください。

- ①最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンをシャッターが小さく上下に動くまで(約2秒)押します。



- ②登録を削除したいリモコンのプログラムボタンを一度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。



※4chリモコンの削除

4chリモコンの場合は、まず初めにチャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。次に上記①、②の手順でリモコンを削除します。